

令和4年度入学者選抜学力検査問題

(前期日程)

総合問題

学類によって解答する問題が異なります。

指定された問題だけに解答しなさい。

学 域	学 類	解 答 す る 問 題
融 合 学 域	先導学類(文系傾斜)	I, II (2問)
人間社会学域	人 文 学 類	I, III (2問)
	学 校 教 育 学 類	I, IV (2問)
	国 際 学 類	I, V (2問)
文 系 一 括 入 試		I, II (2問)

(注 意)

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は本文20ページです。答案用紙は、先導学類(文系傾斜)、人文学類、学校教育学類、国際学類、文系一括入試は各2枚あります。
- 3 答えはすべて答案用紙の指定のところに記入しなさい。
- 4 アルファベット文字や数字は、1マスに1字で記入しなさい。
- 5 問題紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

令和4年度金沢大学入学者選抜試験

問 題 訂 正

【総合問題】

4 ページ 資料3 日本の調査結果の概要

精神的幸福度の右のグラフ

(誤) 7.5% 6.5% 1.4%

(正) 7.5人 6.5人 1.4人

4 ページ 資料3 日本の調査結果の概要

身体的健康の左のグラフ

(誤) 0.7% 1.0% 0.4%

(正) 0.7人 1.0人 0.4人

I 以下の文章を読み、すべての問いに答えなさい。

2020年9月にユニセフ(国際連合児童基金)は、先進・新興国38カ国に住む子どもの幸福度について調査した報告書を公表しました。この調査では、「精神的幸福度」、「身体的健康」、「学力・社会的スキル」という3つの分野のデータをもとに対象国の子どもたちの幸福度の総合順位を出しています。

問1 以下の資料1から資料3をもとに、幸福度に関する日本の子どもの特徴を300字以内で述べなさい。

問2 資料4は、2006年に実施された、ユニセフによるものとは別のある幸福度調査に関して書かれた文章です。資料1から資料3に示されているユニセフの調査を念頭に、下線部のような見解に対するあなたの考えとその根拠を、賛否を明確にしなが、300字以内で述べなさい。なお、その際、「主観」と「客観」という言葉をそれぞれ必ず1回以上用いること。

資料1 子どもの幸福度の総合順位表

総合順位	国	精神的幸福度	身体的健康	学力・社会的スキル
1	オランダ	1	9	3
2	デンマーク	5	4	7
3	ノルウェー	11	8	1
4	スイス	13	3	12
5	フィンランド	12	6	9
∴	∴	中略	∴	∴
18	キプロス	2	29	24
19	イタリア	9	31	15
20	日本	37	1	27
21	韓国	31	13	11
22	チェコ	24	14	22
∴	∴	中略	∴	∴
34	マルタ	28	32	35
35	ニュージーランド	35	33	23
36	米 国	32	38	32
37	ブルガリア	18	37	37
38	チリ	27	36	38

出典：ユニセフ・イノチェンティ研究所(2021)『イノチェンティ レポートカード 16 子どもたちに影響する世界 先進国の子どもの幸福度を形作るものは何か』, 日本ユニセフ協会 広報室訳, 日本ユニセフ協会, 11 頁をもとに一部改変の上, 作成

https://www.unicef.or.jp/library/pdf/labo_rc16j.pdf (2021 年 8 月 18 日閲覧)

注

- (1) 無色の背景は上位 3 分の 1, 薄い色は中位 3 分の 1, 濃い色は下位 3 分の 1 であることを示す。
- (2) 本調査は, OECD(経済協力開発機構)または EU(欧州連合)に加盟する国々(41 カ国)を対象とするが, 指標によってデータのある国の数が異なり, 総合順位表には一定数のデータがある国のみが含まれる。データはいずれも新型コロナウイルスの世界的流行以前のものである。
- (3) 総合順位は WHO(世界保健機関)などの国際的調査のデータや政府統計データをもとに算出。

資料2 各分野の構成要素及び指標の説明

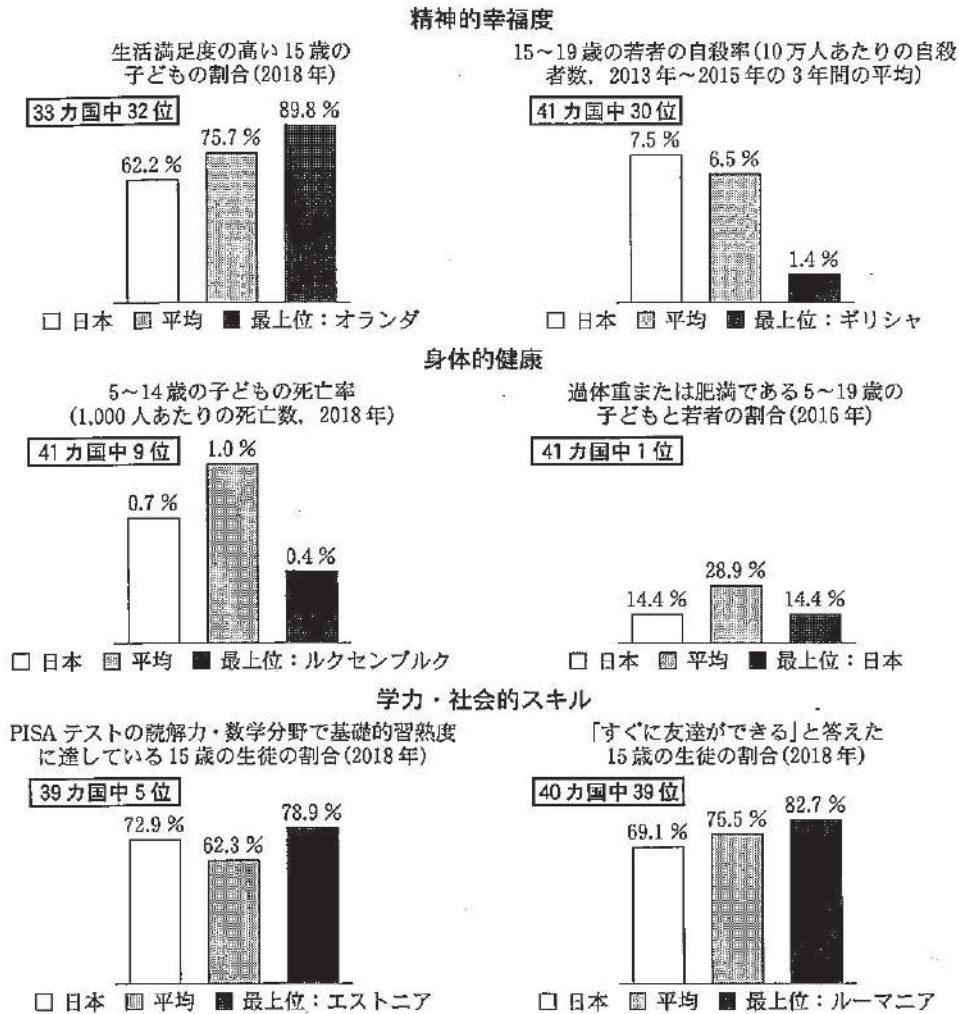
	分野	構成要素	指標
子どもの幸福度 (結果)	精神的幸福度	生活満足度	生活満足度の高い15歳の子どもの割合(2018年)
		若者の自殺	15～19歳の若者の自殺率(10万人あたりの自殺者数, 2013年～2015年の3年間の平均)
	身体的健康	子どもの死亡率	5～14歳の子どもの死亡率(1,000人あたりの死亡数, 2018年)
		過体重	過体重または肥満である5～19歳の子どもと若者の割合(2016年)
	学力・社会的スキル	学力	PISAテストの読解力・数学分野で基礎的習熟度に達している15歳の生徒の割合(2018年)
		社会的スキル	「すぐ友達ができる」と答えた15歳の生徒の割合(2018年)

出典：ユニセフ・イノチェンティ研究所(2021)『イノチェンティ レポートカード 16 子どもたちに影響する世界 先進国の子どもの幸福度を形作るものは何か』, 前掲, 9頁をもとに一部改変の上, 作成

注

- (1) 「生活満足度の高い子どもの割合」とは, 生活全般の満足度を0(考え得る最低の生活)から10(考え得る最高の生活)までの段階で答える設問に対し, 6以上を選んだ子どもの割合である。
- (2) PISAテストとは, OECD加盟国を中心に, 3年ごとに15歳児を対象に実施される国際的な学習到達度調査である。

資料3 日本の調査結果の概要



出典：日本ユニセフ協会「日本の結果について(概要)」をもとに一部改変の上、作成

https://www.unicef.or.jp/jcu-cms/media-contents/2020/09/UNICEF-RC16_JPN.pdf (2021年8月18日閲覧)

注

- (1) ○カ国中○位 内に示された日本の順位は、ユニセフ・イノチェンティ研究所(2021)『イノチェンティ レポートカード 16 子どもたちに影響する世界 先進国の子どもの幸福度を形作るものは何か』、前掲、12頁から15頁及び18頁から19頁をもとに算出。

資料 4

2010年のサッカー・ワールドカップ南アフリカ大会で、日本はデンマークと対戦しめでたく快勝したわけだが、その流れのなかで、あるショッキングな統計結果が——あまり深入りはされなかったが——何度か報道された。2006年の幸福度調査、とでもいうのか、自分は幸せだと感じている人の割合を世界の178か国で調べ、高い順に並べたところ、デンマークが1位だったのに対して、日本は90位だったというのだ。日本の順位の高さには驚かされないか。当時国内総生産高世界第2位の国に生きていながら、人びとは自分が幸福だとはいっこうに感じていない、という……。

しかし、その点に大騒ぎする前に、考えておかねばならない事がある。そもそもこのデータにはどういう意味があるのだろうか。ここから、「デンマーク人は、世界一幸せな国民だ」という結論が引き出せるのか。いや、これは「幸せだと感じているかどうか」のデータにすぎないのであって、事実「幸せであるかどうか」が示されているわけではない——そう言えるだろうか。その場合には、「幸福」について、本人の意識とは別に、それを測る(客観的な)基準が想定されていることになる。しかし、そんなもの(幸福を測る客観的基準)が本当にあるのか。いや、幸福とは、とことん「気の持ちよう」の問題なのであるから(そもそも「気持ち」って、「気の持ちよう」という意味なのか)、「本人さえ幸福だと感じていれば、幸福なのだ」——そう言わねばならないのではないか。やはり、デンマーク人は幸福な国民であり、日本人は不幸な国民、なのか。問題は、「幸せだと感じること」と「幸せであること」の関係如何^{いかん}にある。

それに対しては、これは所詮^{しよせん}「気の持ちよう」を示す数字にすぎないのだから、デンマーク人と日本人が実際にどのように生きているのか、を示す数字とは言えない、という異論が当然、差し出されうる。しかし、この数値は、人びとの「気の持ちよう」を示すにすぎず、人びとが客観的にどのように生きているかについては、まったく何も語っていないと、本当にそう言えるか。いや、やはり、デンマーク社会や日本社会の(客観的)有り様について、何かを語っている数字なのではないか。では、その「何か」って、一体、何なのか。

出典：藤野寛(2011)『高校生と大学一年生のための倫理学講義』、ナカニシヤ出版、86頁から87頁までを一部改変の上、引用

注

- (1) 筆者が言及している調査は、イギリスのレスター大学の社会心理学者エイドリアン・ホワイトが世界に暮らす約8万人を対象に実施したものである。幸福度の順位は、イラクなどの紛争地域を除外した世界178カ国の国別データと、国連などの国際機関から提供された100以上の研究結果に基づき、総合的に算出された。

II 以下の資料を読み、すべての問いに答えなさい。

資料1

人間は様々な面で互いに異なった存在である。外的な特徴や環境の面で異なっている。異なった資産や負債を相続して人生をスタートする。異なった自然環境(ある場所は暮らしやすく、ある場所は暮らしにくいかもしれない)の中に住んでいる。属している社会やコミュニティは、人々ができること、できないことに関して非常に異なった機会をもたらす。住んでいる地域の疫学的環境は人々の健康や福祉に大きな影響を与える。

このような自然的・社会的環境や外的特徴の差に加えて、個人的な特徴(例えば、年齢、性別、身体的・知的能力など)の面でも互いに異なっている。このような差は不平等を評価する場合、重要な意味を持つてくる。例えば、所得は平等であっても、行う価値があると認めることを行う能力の面で不平等はまだ残っている。例えば、体の不自由な人は、たとえ健常者と全く同じ所得を得ているとしても健常者と同じように活動することはできない。このように、あるひとつの変数(例えば、所得)に関する不平等は、他の変数(例えば、「機能を達成する能力」や福祉)に関する不平等とは全く違ったものになりかねない。

他の人と比べて相対的に有利な点や不利な点は、多くの変数(例えば、所得、富、効用、資源、自由、権利、生活の質など)によって評価することができる。個人間の不平等を評価するために焦点を当てる変数、すなわち焦点変数が複数存在するために、どのような視点を採用すべきかという点に関して、非常に基本的なレベルで困難な決断をしなければならない。「評価空間」(すなわち適切な焦点変数の組合せ)の選択は、不平等を分析する際に決定的に重要な意味を持つてくる。

人間の幅広い多様性のために、焦点をどこに置くかということの違いは特に重要になる。もし、すべての人々が互いに全く同じであったならば、あるひとつの変数(例えば、所得)に関する平等は他の変数(例えば、健康、福祉、幸福)に関する平等と一致し、問題は起こらない。しかし、人間の多様性から生じるひとつの帰結は、ある変数に関する平等は他の変数に関する不平等を伴いがちだということである。

(中略)

もし、ある重要な変数に関する不平等が正当である(あるいは良い、受け入れ可能な、我慢しうる)ものであるという主張を(反対論者を「撃ち殺す」のではなく)理性的に擁護しようとするのであれば、より中心的で重要な変数に関する平等の結果としてそのような不平等が生じたということを示す形で、議論を展開することになる。基礎的な変数に関する平等の必要性について人々が合意し、この合意が人々の間で公平でなければならないとすると、重要な論点は選択された「基礎」の妥当性になければならない。かくして、「何の平等か」という問いは、この文脈では「基礎的平等を求めるべき変数は何か」という問いと実質的には差はない。「何の平等か」という問いに対する答えは、その変数(すなわち基礎的平等に関連する焦点変数)上での平等を裏付けているだけではなくて、その他の変数上の分布パターン(必然的に伴う不平等も含めて)に対しても大きな影響を及ぼすことになる。「何の平等か」という問いは、実に重要で、かつ中心的なものなのである。(中略)

社会制度に関する規範的理論は、われわれがすでに論じてきた理由によって、ある変数に関する平等を要求している。この平等は、そのシステムにおける「基礎的平等」をなし、他の変数の分配パターンに影響を与える。実際に、基礎的平等は、他の変数の不平等の直接的な原因になっているとさえ言える場合がある。

出典：アマルティア・セン(1999)『不平等の再検討：潜在能力と自由』、池本幸生・野上裕生・佐藤仁訳、岩波書店、25頁から34頁までを一部改変の上、引用

問 1 資料1の下線部について、事例をひとつ挙げ、300字以内で説明しなさい。

資料2 「競争」に対する人々の評価

「競争」に対する評価	日 本 (%)	アメリカ (%)
1	8.25	21.29
2	8.72	13.62
3	17.93	19.74
4	19.56	15.44
5	27.80	16.88
6	7.19	5.19
7	2.97	2.89
8	2.49	2.50
9	1.15	1.41
10	3.93	1.04
	100	100

出典：World Values Survey Wave 5 (2005-2009)より作成。

注

- (1) 「競争」に対する人々の評価は10段階で行われている。
 1 = 最高評価(「競争」は良いことである), 10 = 最低評価
 (「競争」は害悪である)を表す。表中の数値はその評価を下し
 た人の割合(%)を示している。

問2 資料2は、日米における「競争」に対する人々の評価を示した表である。この表に見られる二国間の相対的な差異に注意し、資料1の主旨に基づき日本における「競争」のあり方についてあなた自身の意見を400字以内で述べなさい。

Ⅲ 以下は、阪神・淡路大震災(阪神大震災)の記憶について語った「メッセージ 記憶よ」と題する新聞記事を取りあげた文章です。この文章を読み、すべての問いに答えなさい。

2000年1月7日の朝日新聞夕刊社会面に大きく掲載されたその記事は、1995年の阪神大震災で一人息子を亡くした女性の物語である。70歳を過ぎたその女性は、固く絞られ、乾いて棒のようになった雑巾を形見にしている。それは歳末、帰郷した息子が家事を手伝って、絞ってくれた雑巾であるという。年が明けてその月のなかば、息子は震災で亡くなった。記事は語る。

葬儀を終えても、息子の死が信じられなかった。彼女は遺骨を海にまく決心をした。海に永遠の命を重ねたからだ。自然葬に取り組むグループに入っていて、息子も理解を示してくれていた。神戸港沖に、孫娘と散骨をしたのはその年の四月のことだった。雑巾は手元に残した。

固く絞られて解けないその形のように、記憶が風化しないことを願った。……震災の年の暮れ、医師から鬱傾向があると診断を受けた。処方してもらった薬を飲むと、すぐに晴れ晴れとした気分になった。だが彼女は薬を飲むのをやめた。このままでは息子を失った悲しみまで薄れてしまうと恐れたためだ。

そして、記事は次のように結ばれている。

寂しいときは、近くの海へゆき、庭に咲いた四季の花弁をまく。大阪の孫娘からも、海へ行って来たよと連絡が入る。海と雑巾。凩ぐ日も、荒れる日も、息子とどこかでつながっている。

震災という〈出来事〉、それによって一人息子を奪われるという〈出来事〉、その出来事を経験していない者には想像できない、他者が被った暴力的な〈出来事〉の記憶。それが、物語化されたその文章を読むことによって、にわかには近いものとなる。一人息子の死を悼む母、海への散骨、息子が絞ってくれた雑巾、癒やしがたい

哀しみ、その哀しみとともに記憶のなかで生き続ける息子、永遠の命、そして、息子とつながっているという実感……私たちは共感をもって理解する。その途轍もない暴力性ゆえに、遠い「他者」の出来事だと思っていたその〈出来事〉を、普遍性をもった出来事として理解する。

それが、物語的な叙述スタイルで書かれたこの記事の目的とするところでもあろう。震災という暴力的な出来事を体験するということが、それを経験しなかった大多数の者たちにも理解可能な、人間的な共感を寄せることのできる出来事として提示すること。もしかしたらそれは、〈出来事〉をそのようなものとして理解したいという、読者の欲望に応えてのことかもしれない。そこにあるのは〈出来事〉を物語として領有したいという欲望である。

「海と雑巾。凧ぐ日も、荒れる日も、息子とどこかでつながっている」——その言葉は、物語の落ち着く先を読者に示している。〈出来事〉を物語として完結させる言葉。そう語ることで語り手は、〈出来事〉を物語として領有する。その物語を読むことで、読者もまた〈出来事〉を物語として領有する。未曾有の〈出来事〉、一瞬の出来事によってかけがえのない息子を奪われるという暴力的な〈出来事〉。だが、息子とどこかでつながっていることを、息子の永遠の命を、海に、雑巾に、日々実感する母。物語は終わり、読者は理解し、感動する。そこには、読む者を不安に陥れたり脅かすものは何もない。なぜなら、すべては理解可能なのだから。想像を絶すると思われていた〈出来事〉も、その途方もない暴力の巨大さゆえに考えるのを避けていた〈出来事〉が、今ではもう、私たちの記憶のなかに、その安定した居場所を見つけることができるのだから。私たちはその物語を自分がそれを思い出したいときに、思い出さだろう。あの真っ暗な穴の奥底にうごめく〈出来事〉の記憶が、その壁を振りのぼって物語を突き破り、暴力に浸潤されたその記憶を滴らせながら私たちに迫ってくることはない。それは、封印なのだ。物語にぼっかりと口を開いたあの開口部、語り得ない〈出来事〉の余剰へと通じるあの穴——黄泉への道筋——を永遠に塞いでしまう封印。

出典：岡真理(2000)『記憶/物語』岩波書店、82頁から84頁までを一部改変の上、引用

問 1 著者が、文中の「出来事」という言葉の一部に、あえて山括弧をつけて「〈出来事〉」としているのはなぜか。括弧なしの「出来事」との違いに留意しつつ、その理由を 150 字以内で説明しなさい。

問 2 文章は〈出来事〉を物語化することがもたらす効果について論じていますが、物語化することにはどのような問題があり、また効用があるとあなたは考えますか。具体例を挙げながら、350 字以内であなたの考えを述べなさい。

IV 以下の文章を読み、すべての問いに答えなさい。

ヤングケアラー⁽¹⁾の背景には、少子高齢化や核家族化の進展、共働き世帯の増加、家庭の経済状況の変化といったさまざまな要因がある。こうした中で、ヤングケアラーは、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、本人の育ちや教育に影響があるといった課題があり、その心身の健やかな育ちのためには、関係機関・団体等がしっかりと連携し、ヤングケアラーの早期発見・支援につなげる取組が求められている。

今般公表された、要保護児童対策地域協議会、子ども本人、学校を対象とした初めての全国規模の調査研究事業「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」において作成された報告書によると、世話をしている家族が「いる」と回答した子どもは、中学2年生で5.7%、全日制高校2年生で4.1%という結果となった。その中には、世話をしているでも自分のやりたいことへの影響は特にないと回答した子どもが半数いる一方で、家族への世話を「ほぼ毎日」している中高生は5割弱、一日平均7時間以上世話をしている中高生が約1割存在するという結果であった。本人にヤングケアラーという自覚がない者も多く、子どもらしい生活が送れず、誰にも相談できずに日々ひとりで耐えている状況がうかがえる。

出典：ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム(2021)『ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム報告』1頁を一部省略・改変の上、引用
https://www.mext.go.jp//content/20210521-mxt_jidou02-000015177_b.pdf
(2021年8月10日閲覧)

注

- (1) ヤングケアラー：法令上の定義はないが、一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている未成年者を指す。

問 1 世話をしている家族が「いる」と回答しているにもかかわらず、本人にヤングケアラーという自覚がない者も多いことが挙げられているが、その理由として考えられる要因を資料1-1から1-3を参考にして200字以内で述べなさい。

問 2 ヤングケアラーの早期発見・支援につなげる取組の必要性が述べられている。資料2は、市区町村の支援する際の課題、資料3は、学校が支援に必要とする課題を示している。これらの資料から、市区町村と学校のヤングケアラーに関する課題の相違点を挙げ、相違による問題点を200字以内で述べなさい。

資料1-1 中高生へのアンケート調査結果

世話をしている家族の有無

	調査数 (人)	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
中学2年生	5,558	5.7	93.6	0.6
全日制高校2年生	7,407	4.1	94.9	0.9
定時制高校2年生相当	366	8.5	89.9	1.6
通信制高校生	445	11.0	88.1	0.9

出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(2021)『令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業 ヤングケアラーの実態に関する調査研究』92頁、図表-76を一部改変の上、引用

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/mext_01458.html

(2021年8月10日閲覧)

注

- (1) 通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計。19歳以上は「いた(現在はお世話をしていない)」, 「現在まで継続してお世話をしている」が「いる」に含まれる。

資料1-2 中高生へのアンケート調査結果

自分はヤングケアラーに当てはまると思うか

	調査数 (人)	あてはまる (%)	ない あてはまら (%)	わからない (%)	無回答 (%)
中学2年生	5,558	1.8	85.0	12.5	0.7
全日制高校2年生	7,407	2.3	80.5	16.3	0.8
定時制高校2年生相当	366	4.6	68.0	26.8	0.5
通信制高校生	445	7.2	75.5	16.9	0.4

出典：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社(2021)『令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業 ヤングケアラーの実態に関する調査研究』103頁，図表-95を一部省略・改変の上，引用

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/mext_01458.html
(2021年8月10日閲覧)

注

- (1) 通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

資料1-3 中高生へのアンケート調査結果

ヤングケアラーの認知度

	調査数 (人)	内容も知っている (%)	聞いたことがある (%)	聞いたこと はない (%)	無回答 (%)
中学2年生	5,558	6.3	8.8	84.2	0.6
全日制高校2年生	7,407	5.7	6.9	86.8	0.6
定時制高校2年生相当	366	6.0	7.7	85.5	0.8
通信制高校生	446	8.1	7.8	83.9	0.2

出典：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社(2021)『令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業 ヤングケアラーの実態に関する調査研究』105頁，図表-96を一部改変の上，引用

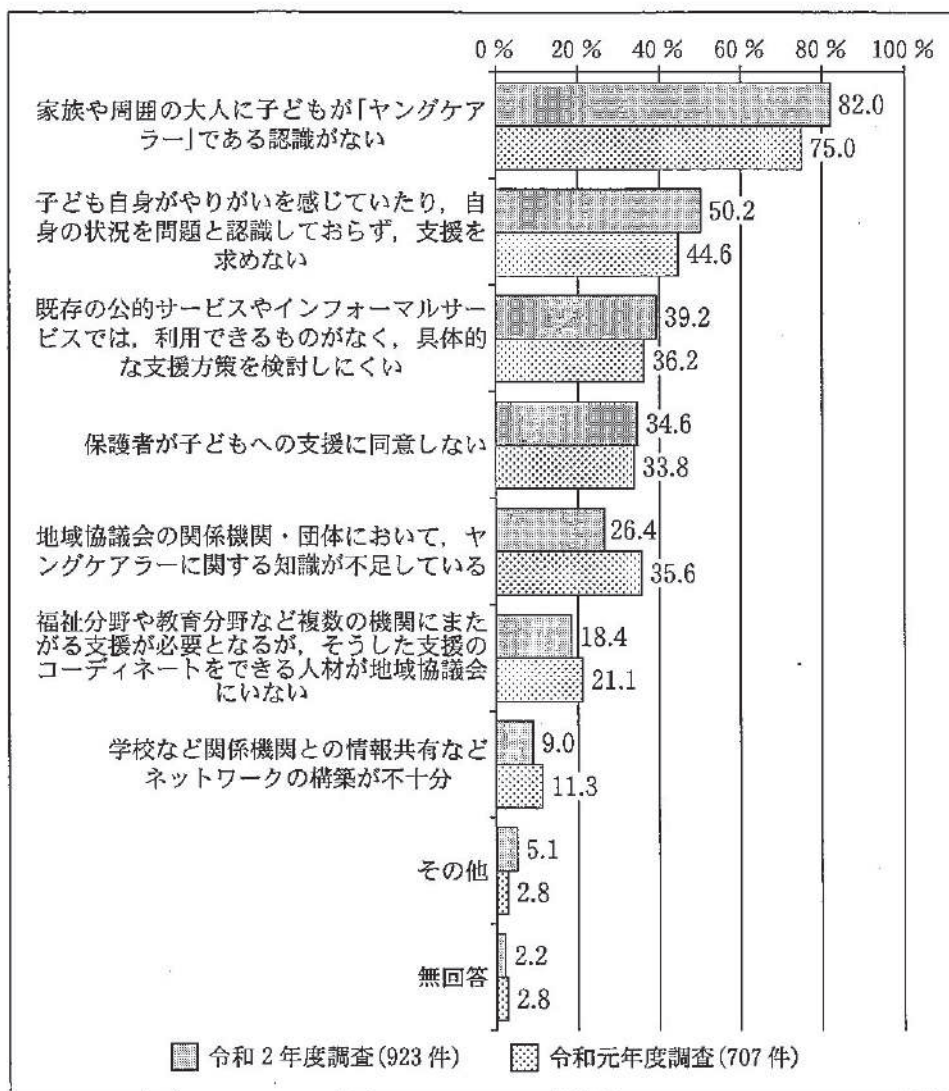
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/mext_01458.html
(2021年8月10日閲覧)

注

- (1) 通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

資料2 各市区町村の要保護児童対策地域協議会へのアンケート調査結果

ヤングケアラーと思われる子どもを支援する際の課題(複数回答)



出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(2021)『令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業 ヤングケアラーの実態に関する調査研究』16頁、図表-20を一部改変の上、引用

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/mext_01458.html
(2021年8月10日閲覧)

資料3 学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査結果

ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと(複数回答)

(%)

	中学校 (754校)	全日制高校 (249校)	定時制高校 (27校)	通信制高校 (35校)
子ども自身がヤングケアラーについて知ること	69.2	76.7	70.4	80.0
教職員がヤングケアラーについて知ること	86.6	83.5	77.8	77.1
学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること	51.1	43.0	29.6	31.4
SSW やSCなどの専門職の配置が充実すること	61.0	57.0	70.4	51.4
子どもが教員に相談しやすい関係をつくること	73.9	66.3	66.7	68.6
ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること	17.1	10.8	3.7	11.4
学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること	34.7	28.5	25.9	22.9
学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること	54.9	47.4	63.0	57.1
ヤングケアラーを支援するNPOなどの団体が増えること	23.3	16.9	25.9	34.3
福祉と教育の連携を進めること	19.2	16.1	7.4	25.7
その他	3.3	4.0	0.0	2.9
特にない	0.0	1.2	0.0	0.0
無回答	2.7	6.8	11.1	8.6

出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(2021)『令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業 ヤングケアラーの実態に関する調査研究』52頁、図表-47を一部改変の上、引用

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/mext_01458.html

(2021年8月10日閲覧)

注

- (1) SSW：スクールソーシャルワーカー
- (2) SC：スクールカウンセラー

V 以下の文章を読み、すべての問いに答えなさい。

米国の文化人類学⁽¹⁾からは多くを学んだが、今日、「文化」、あるいは「文化」と「政策」の関係について考えるうえで根幹を成す視座の一つに「構築主義 (constructionism)」がある。ある文化的特質を所与のものとして捉えるのではなく、その生成にまつわる過程や力学を重視する立場のことで、「本質主義 (essentialism)」と対を成す概念とされる。つまり、ある文化的特質を固有不変の「本質」として捉えることを拒み、一旦括弧に入れ、その断片性や不完全性、文脈依存性を解き明かすということだ。

例えば「日本人論」すなわち「日本らしさ」をめぐる言説は本質主義の典型とされ、構築主義にとっては精査の対象となる。歴史を振り返れば、日清・日露戦争の富国強兵の時期には、新渡戸稲造の『武士道』や内村鑑三の『代表的日本人』など、西洋の先進国に対して日本を肯定的に捉える言説が流行した。敗戦から占領期にかけては、近代化論⁽²⁾やマルクス主義⁽³⁾が日本の知識人に影響をもたらしたが、相反する両者の理論的主張とは裏腹に、日本社会の認識という点では、どちらも「前近代的」「封建的」「非合理的」「反民主的」といった負のイメージを共有していた。ところが、高度成長期になると、欧米の先進国モデルや社会主義的な発展段階説⁽⁴⁾とは異なる視点から日本を再考する言説が台頭し、加藤周一の「日本文化の雑種性」や梅棹忠夫の「文明の生態史観序説」といった評論が発表され、日本的システムの肯定的作用を説明する中根千枝の『タテ社会の人間関係』や土居健郎の『「甘え」の構造』がベストセラーとなった。逆に、1980年代に入り「国際化」への圧力が強まると、日本的システムの否定的作用を危惧する言説や、国際社会における責任の引き受け方をめぐる言説が目立つようになった。

いわば、「日本人論」とは、それぞれの時代状況において「自分探し」の役割を担ってきたジャンルであり、主に「米国」や「西洋」を合わせ鏡としながら、その都度、「日本らしさ」が構築されてきた。日本礼賛色の強い、近年の新たな「日本人論」ブームの背景には、米国や西洋の相対的衰退、中国や韓国への反発、人口減など日本の将来への不安、「反日」のレッテルを恐れる出版社側の自主規制、日本文化に対する海外からの高評価などが混在しているように見受けられる。

その日本文化については「外来文化を融合しながら独自の文化を発展させている」「自然との調和や共生を重んじている」「革新と伝統を融合している」「細部へのきめ細かな配慮に富んでいる」といった特徴づけをされることが多いが、構築主義はそうした特質を直ちに所与の本質と捉えることはしない。むしろ、例えば、①日本以外の社会にも認められる特質ではないか、②そうした特質とは正反対の事象も存在するのではないか、③地域差や階層差、男女差、世代差といった点を考慮すると「日本」という大きなカテゴリーで一括りにするのは乱暴ではないか、④価値基準そのものがエスノセントリック(自民族中心的)ではないか、⑤そもそも誰が、誰に対して、何の目的で、こうした言説を生産し、流布しているのか、といった点への留意を求める。

もちろん、こうした構築主義の立場には次のような反論があり得る。

まず、第一に、それでは「日本文化」を語ることは一切許されないのか、「日本文化」なるものは存在しないのか、というものだ。構築主義の立場を突き詰めてゆくと、自己であれ、他者であれ、いかなるものに対しても何も語れなくなる。いわゆる「相対主義のジレンマ」であり、そこには「すべては相対的である」という前提そのものは相対化され得ない——つまり、相対主義そのものは絶対的真理であるという——自己矛盾が内包されることになる。この点に関して、私自身はラディカル⁶⁾な相対主義の立場は取らない。比較の対象やそのレベル、あるいは目的によっては一定の文化的特質を抽出することは十分可能だと考える。しかし、私の知る限り、全てを包み込むような日本文化の本質的な特質はいまだ科学的——少なくとも文化人類学的——には見出されていない。むしろ、多くの場合、「日本らしさ」は「事実」というよりも「願望」に関わるものという印象を受けている。

第二に、とはいえ、それはかなり厳密に考えた場合であって、現実には人間はもっと柔軟に文化を捉えているのではないのか、という反論がある。この点はおもむくも、人間は世界を恣意的に切り取り、分類(分節)し、意味づけて生きる動物であり、それはいわば、本質主義的な営為の連続とも言える。それを否定することは、自らの生すら否定することになりかねない。私自身、日常や社交の場において、文化論を厳密に展開しようとは思わないし、自ら本質主義的な文化論に興じることさえある。そうした言説によって織りなされているのが日常や社交だと思ふか

らである。一種の「戦略的本質主義」——半ば確信犯的に、本質主義的な言説を用いること——と言っても良い。構築主義とは、あくまで学術的な意図と見地から、そうした営為を客体化し、解き明かす立場に過ぎない。

出典：渡辺靖(2015)『〈文化〉を捉え直す——カルチュラル・セキュリティの発想』岩波新書 156頁から160頁までを一部改変の上、引用

注

- (1) 文化人類学 人間を文化・社会の面から実証的に研究する学問
- (2) 近代化論 伝統社会から近代的な産業化および国民国家形成への変化について理論と実証の両面から分析する方法論
- (3) マルクス主義 マルクス、エンゲルスによって確立された思想体系
- (4) 社会主義的な発展段階説 奴隷制、封建主義などの諸形態から資本主義を経て共産主義、社会主義へと社会が段階的に変化するという説
- (5) ラディカル 急進的

問 1 本文中で筆者が語る「構築主義」とは何か、文中に言及される日本文化に関する議論なども参考に 200 字以内で説明しなさい。

問 2 筆者は本文中で、現代文化人類学における「構築主義」と対を成す概念として文化の「本質主義」についても言及しています。あなたの見聞、経験からこの対比を示す具体的な例をあげた上で異文化理解についての考えを 500 字以内で述べなさい。

出典に関する補遺

令和4年度金沢大学一般選抜（前期日程）「総合問題」の入学試験問題で引用した文章の出典は、次のとおりです。

【大問.Ⅱ - 資料1（出典，原著書）】

Reprinted from “Inequality Reexamined” by Amartya Sen, Copyright © 1992 Oxford University Press. Reproduced with permission of the Licensor through PLSclear.